

幹事殿

(一社)日本工作機械工業会

第79回技術委員会 幹事会
議事録

1. 日時：2026年5月22日(金) 14:00~14:50

2. 形式：teamsによるWEB開催

3. 出席者(順不同、敬称略)

委員長 家城 淳(オークマ)

副委員長 千田 治光(オークマ) 岡田 聡(ヤマザキマザック)

井出聡一郎(ファナック) 小久保光典(芝浦機械)

幹事代)山本 雄介(DMG森精機) 白石 治幸(牧野フライス)

大久保 弘(ニデックオーケー) 納谷 敏明(ジェイテクト)

事務局 笹川 哲平 高野 晋一 大槻 文芳 西村 京子 三浦 一太

以上14名

4. 配布資料

No.1 第78回技術委員会・幹事会 議事録

No.2 技術委員会幹事会名簿

No.3 研究開発部会 2025年度活動報告・2026年度活動計画(案)

資料3-1 2025年度第1回技術動向調査報告会(8月5日) アンケート結果

資料3-2 2025年度第2回技術動向調査報告会(12月17日) アンケート集計結果

資料3-3 『新版設計学(応用編)』改訂点・目次

資料3-4 日米特許リストの生成AI活用事例について(試験版)

資料3-5 知的財産調査専門委員会活動報告会 報告資料

資料3-6 知的財産調査専門委員会活動報告会アンケート集計結果

資料3-7 IMEC2026 開催概要(案)

資料3-8 工作機械の高度人材育成調査研究検討事項

No.4 標準化部会2025年度活動報告及び2026年度活動計画案

資料4-1 第95回_ISOTC39SC2@Winterthur_報告書 提出版

資料4-2 ISO-TC 39-SC 2 N3245 Minutes 96th Meeting virtual

資料4-3 第33回 ISOTC184SC1@南京およびWG7,WG10,WG11報告書

資料4-4 2026.04.00 欧州機械規則ガイドライン

資料4-5 インドBIS認証制度に関する要望レター（最終確認版）

資料4-6 インド官報（2025年11月13日付）

資料4-7 インド官報（2026年1月14日付）

資料4-8 工場関連IoT製品におけるJC-STAR活用検討会（仮）

資料4-9 ISO-TC39-WG12海外出張（2026年3月）報告書

5. 議 事

イ. 幹事に先立ち、事務局より技術委員会は後日別途開催することになった旨、説明を行った。

ロ. 技術委員会 2025 年度活動報告・2026 年度活動計画(案)について

各部長より、研究開発部会と標準化部会の 2025 年度活動報告・2026 年度活動計画(案)について説明があった。

(1) 研究開発部会（千田部会長）

資料 No.3 に基づき、2025 年度活動として実施した、「①技術動向調査活動報告会」、「②工作機械の設計学（応用編）改訂委員会」、「③知的財産調査専門委員会」、「④IMEC（国際工作機械技術者会議）運営委員会」について報告があった。

2026 年度活動計画(案)では、新たに「①工作機械の高度人材・確保育成に関する調査研究」を加え（資料 3-8 参照）、その他継続で「②技術動向調査報告会」、「③知的財産調査専門委員会」、「④IMEC（国際工作機械技術者会議）運営委員会」を実施する旨、説明があり、異議なく了承された。

<以下、質疑応答>

・2026 年度新規事業となる「工作機械の高度人材・確保育成に関する調査研究」については、重要なテーマであり、しっかりと検討を進めていただきたい。

→本件に関しては、引き続き幹事の皆様にもご参画いただいております、事業へのご協力をお願いしたい。

(2) 標準化部会（岡田部会長）

資料 No.4 に基づき、2025 年度活動として「①機械規格専門委員会」、「②制御規格専門委員会」、「③電気・安全規格専門委員会」、「④環境負荷調査専門委員会」「⑤EMC 規格専門委員会」の5つの専門委員会とその傘下の20の分科会及びJIS原案作成委員会の活動について、報告があった。

2026 年度活動計画(案)は、5つの専門委員会で継続実施する中で、「①機械規格専門委員会」では、ISO で新たに創設された2つのWG（ISO/TC39/SC2/WG3…マシニングセンタの精度試験、WG10…NC ホブ盤の精度試験）と新規のJIS原案作成（JIS B 6211…横軸内面研削盤－精度試験）が追加、「③電気・安全規格専門委員会」は新規のJIS原案作成（JIS B 6033…工作機械－安全性－据付け形研削盤）とIEC/TC44/MT 60204-34（機械類の安全性－機械の電気装置－第34部：工作機械に対する要求事項）への対応が追加された旨説明があり、異議なく了承された。

<以下、質疑応答>

- ・標準化について、特に注力している案件や海外の動向を注視すべき規格はあるのか。
→制御規格専門委員会で検討されている規格は、これまで工作機械メーカ、ユーザが慣れ親しんだGコード以外のSTEP NC等について取り扱われており、新規提案のISO 26521（提案国：日本）等の内容を含めて、適宜、会員に情報を共有していきたい。

ハ. 諸報告

- ・技術委員会の本委員会は会員企業への訪問を検討しているが、新日本工機へ打診したところ、前向きな回答を頂いており、7月後半を目途に開催を調整している。
- ・Manufacturing-Xに関して、直近は新たなアプローチはないものの、JIMTOF開催に合わせてVDM側から何らかのアクションが生じる可能性がある。その場合はご相談させていただくことがあるかもしれないので、ご協力いただきたい。なお、研究開発部会の一部会員の方からは、協力した場合のメリットが見えてこない、国産のウラノスエコシステムに協力すべきではないかという意見も頂戴している。

ニ. その他

次回技術委員会については、日程が決まり次第、早急に案内することとした。

以上